



TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB 東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30)

会 場 帝国ホテル3F 舞の間

会 長 福元 智子

幹 事 清宮 普美代

事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F

TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271

<http://blog.livedoor.jp/chuoshin/>

2019-2020年度 国際ロータリーテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」

本日の例会 第777回 2020年6月22日(月)

オンライン例会

📺 福元智子会長挨拶「一年間を振り返って」

例会報告 第775回 2020年6月1日(月)

オンライン例会

出席率 53.45% 接続会員数31名+メンバー0名

(正会員64名-休会6名)

📺 開会挨拶(野呂洋子会員組織委員長)

皆様 オンライン例会7回目を開催させていただきます。

なお、本日の例会の様子は当クラブの週報用の記録としてビデオ録画をさせていただく予定ですので、参加者の皆様におかれましては、個人情報への許諾を予めよろしくお願い致します。

📺 卓話者・ゲスト発表(上田美帆SAA委員長)

オンライン例会によくそご参加下さいました。

(本日の卓話者ご紹介)

i 僧侶 藤田一照 様

(ビジターのお客ご紹介)

ii 2750地区銀座日本橋Gガバナー補佐

田中政義 様

iii 東京築地RC会長 庄野久 様

iv 日高RC会長 白井威 様

v 同 幹事 古本良子 様

vi 東京赤坂RC会長エレクト 熊本誠司 様

vii 同 次期幹事 コンシニ・ティエリ 様

viii 福元智子会長ゲスト 五十嵐朝青 様

ix 同 頼明美 様

x 白坂亜紀会員ゲスト 高橋野枝 様

📺 幹事報告(清宮普美代幹事)

- ・本日は今期最後の理事会が、次年度との合同理事会として開かれました。
- ・鈴木会員が仕事の都合で、軽井沢RCへ移籍することが承認されました。
- ・来年度の活動のあり方について、協議は継続していくことになっていますが、アンケートに基づき、7月第1回・第2回はオンラインとし、第3回は様子を見て、帝国ホテルの対面例会とオンラインのハイブリッド形式を試みる方向です。

- ・次年度前期の会費は、コロナのインパクト対応として、緊急予算として5万円減額とすることが承認されました。
- ・次年度の奉仕予算は、7月以降決定予定です。
- ・6月15日は、卓話はなく通常例会とクラブ協議会と合せて90分間で来期の奉仕プロジェクト案を発表協議いただきます。
- ・次年度のすすめ方についてのアンケート用紙を検討の上、皆様のお考えを回答下さい。
- ・先週もお願い致しましたが、来期の皆様のご希望委員についてご要望をお知らせ下さい。

📺 ご挨拶(2750地区銀座日本橋Gガバナー補佐 田中政義 様)

今日は偉いお坊さんが卓話されると聞き、私も実家が曹洞宗で小さい時頭を丸められて励んでいたことがあり、楽しみにしてまいりました。ガバナー補佐の最大の仕事は、所属クラブにガバナー賞を取ってもらうことなので、先週色々添削して貴クラブにも申請してもらいました。9クラブから申請が出ている中で、中央新は圧倒的に優れていました。是非楽しみに結果をお待ち下さい。

📺 ご挨拶(東京築地RC 庄野久会長)

私達も2月中旬から例会が中止になり医療のために何かしたいと思っていたところ、中央新RCの素晴らしいプロジェクトに出会い、新たに自分たちが何か作るよりタイミングを逸しないでもいいかなと手を挙げて参加させていただきました。

それから、中央新さんの様々な動きには日ごろから感心しており、やはり若い人が多いところはすごいなと感じております。これからもよろしくお願い致します。

📺 ご挨拶(日高RC 白井威会長)

今日はお招きいただきありがとうございます。本来は6月1日(月)の帝国ホテルの例会に、当クラブからメークアップツアーをさせていただく予定でしたが、コロナ禍で中止になってしまいとても残念です。日高RCの例会は休止中ですが、今日のオンライン例会をヒントにして地元でオンライン開催できればと念じております。又、帝国ホテルの例会が開かれる時にはメークアップツアーを企画したいと思いますので、そのときはどうぞ宜しくお願い致します。

✿ご挨拶(日高RC幹事 古本良子様)

皆さんこんにちは。初めて参加させて頂きました。オンラインは初めての経験ですが、こんなに皆さんがしっかりコミュニケーションがとれるんだと、明日の理事会で報告させていただくつもりです。

✿会員近況報告(落合守征会員)

皆様ご無沙汰しております。私は、空間・建築プロジェクトデザイン、ランドデザインなど多様なデザイン活動を展開するデザインファームを経営しております。本日は最近の仕事についてお話し致します。

- 街づくりプロジェクト「星空と風景を眺める茶室群」岡山県美星町で3年位前から街起こしのためにシンボルとする施設を作って盛り上げてほしいとの依頼があり、「星空と風景を眺める茶室群」を進めています。美星町は本当に山や星が綺麗なところで、町の子どもたち(小学生から高校生)と毎年ワークショップとして続けています。

茶室として多角形の造形物をたくさん不連続に並べて群とし人々が思い思いの造形物に入って、スリットのスペースから星を見たり、山の景色を見たり、ゆっくり寛いで茶会を行うというコンセプトで作りました。

- 横浜日吉本町マンション開発(110戸)
中庭をコミュニティとして交流が生まれるスペースとし、エントランスも天井に多角形の着色照明を配置し、地層の積み重なりイメージを特色付けました。
- 川崎の保育園
日常の中の非日常を演出するため、高い天井スペースに、不定形な楕円形の穴を多数あけた透明な中板を貼り、ブルーの模様の一部着色して空間の仕切りとしました。各部屋のドアや天井も波や海のイメージでうねりを与えいろいろな違った色で各部屋を一部着色することで、子どもたちが楽しくイメージを膨らませながら遊べるよう工夫しました。
- ブランドイメージ作り(INAX)
いろいろなINAXの商品を各所に配置して製品に触れながら会社の歴史やブランドイメージを感じていた

だくヴィラを作りました。これは会社の海外向けの商品パンフレットにも採用されています。

- 美容院のデザイン
日本の折り紙や振袖の伝統的デザインを建築空間に取り入れ、天井にフィルムによる造形物を貼り付け、そこに異事空間を演出しました。
- 京都清水焼プロジェクト
清水焼を世界に向けて発表したいという依頼があり、日本の枯山水のイメージと振袖のデザインなどを流用して、薄いものを重ねて破いたりちぎったりしたイメージでお皿風の作品とし、さらにいろいろな色で着色し水が流れているイメージを表現してみました。

✿近況報告(高橋辰三会員)

世の中コロナウイルスなどの話題が多いなか、プロ独身、伝説の婚活士、まだ結婚できない男などの汚名を着せられていた私ですが、ご縁ありまして3月に知り合い4月から交際し、2ヵ月で人生の伴侶として見出し、めでたく5月30日結婚に至りました。

これからは接待を伴う飲食店などにはとても行けませんが、お祝いのお誘いはお断りできない質なので、是非お誘いくださいませ。

今後は伴侶共々よろしくお願いします。

✿6月のハッピーバースデー

須永珠代会員(28日生れ)、高橋肇会員(7日生れ)、野呂洋子会員(26日生れ)、原川雅貴子会員(10日生れ)、宮下文夫会員(17日生れ)、山本恭子会員(1日生れ)(高橋会員挨拶)

ありがとうございます。これからロータリーの在り方も変わってくると思いますので、皆でいろいろな案を出し合って作っていきたいと思います。

(山本会員挨拶)

ご無沙汰しておりました。コロナの影響でなかなか難しいことが沢山ありますが、又1日も早く帝国ホテルで皆様とお会いできる日が来ることを楽しみにしております。





「ブッダが教える愉快的な生き方」

僧侶
藤田 一照様



【丸山会員のご紹介】

50年ほど家族ぐるみのお付き合いをさせていただいています。藤田さんは若いころバレーの選手で、その後灘高・東大へ進み、その後の表の姿は見えませんが、英語で仏教を海外に紹介するなどとても楽しい方です。

【プロフィール】

1954年愛媛県生まれ。東京大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士課程を中途退学し、曹洞宗僧侶となる。1987年よりアメリカ合衆国マサチューセッツ州西部にある禅堂に住持として渡米、近隣の大学や仏教瞑想センターでも禅の講義や坐禅指導を行う。2005年に帰国。2010年より2018年まで、サンフランシスコにある曹洞宗国際センター所長として日本と海外を往還する。神奈川県葉山町にて慣例に捉われない独自の坐禅会を主催している。朝日カルチャーセンター等でも講義や坐禅指導を行っている。

（卓話）

・人生の転機

私は今66歳ですが、28歳で大学院を中退して僧侶の途へ入り、33歳で日本からアメリカへ渡って18年間活動し、38歳で結婚して家庭を持ち、50歳で家族を連れて帰国し、葉山の友人の別荘の管理人になり現在に至っています。私の人生の大きな転機は突然向こうからやってくるのです。そして私は、そっちの方が面白そうだからと入っていくのです。結婚も面白そうだなと愉快的なことを選んだ結果です。

・私は最近2冊の本を出しました。

1冊目はNHK出版の「ブッダが教える愉快的な生き方」で、仏教には様々な教義がありますが、大事なことはブッダのように愉快に生きたいという心の底からの願いではないかと思い、愉快的な人生について書いたものです。

2冊目は幻冬舎の「アップデートする仏教」で、ブッダの誕生から2500年以上たって仏教を現在に合わせてアップデートしようとの試みです。かつて「涅槃」は煩惱を断って絶対的静寂に達した境地とされていましたが、私は「涅槃」とはこの人生を愉快に生き抜くこと＝いつも澁刺として活き活きと元気に自分の魂を感じられる状態と読み替えています。今のコロナの時代にも、愉快に前向きに対応することを教えてくれる仏教を目ざしています。

・京都の山の中の廃材を買取って寺にした場所で修行

を始め、アメリカへ行って修行を続けろと言われ、海外開教師の資格を取るための儀式を受けたのも山の中の寺でした。1992年からアメリカ・マサチューセッツ州の山の中にぽつんと建つ寺を拠点として活動しました。

- ・修行人生の大転機（頑張る修行から楽しい修行へ）
私の修行時代は、女子バレーボールの大松監督の頑張りズムがまだ生きており、私も修行を始めたのが28歳と遅かったので、普通1時間の修行をするところをそれなら私は追いつくために2時間だと修行に頑張っていました。その後日本とアメリカで十数年修行を続け、結婚もし子供もでき、自分の心の中に修行は愉しくなければいけないのではないかと、それが仏教の本当のメッセージじゃないかと思うようになっていました。

そのころ、ヴェトナム人禅僧ティク・ナット・ハン師との出会いが大きな転機になりました。ティク師が阪神淡路大震災の3ヵ月後の1995年4月に来日し、約20日間日本各地で講演会・ワークショップなどを行った際、私が通訳としてアメリカから呼ばれたのです。師は仏教を通じてベトナム戦争に平和をもたらそうと活動を続け、キング牧師などと共にノーベル平和賞にもノミネートされました。

ある日師と一緒にゆっくり歩いていると、「一照さん、微笑みなさい。修行は楽しいものであるべきですよ」(Issho-san, Smile, Practice should be enjoyable.)と言われ、私が「え。楽しい修行ですか？ そんなことが可能なんでしょうか？」と聞くと、「はい。ブッダはいつも微笑んで修行されていたはずですよ。しかも面をした人の周りに人は集ってきませんよ。」と言われたのです。私はまだ修行の苦しさに耐えていることに密かな自己満足を感じ、修行者としてのアイデンティティを感じていました。

もう一つ言われたのが、「幸せへの道はありません。幸せが道なのです。」(There is no way to happiness. Happiness is the way.) 私はまだ修行の果てに悟りの涅槃に至ると思っていたので、この一言で頑張らなくちゃと思っていた不要な緊張に気付くようになり、坐禅の味わいや生活の風景が少しずつ愉快の方向に変わっていきました。この英文をティク師に色紙に書いていただき、今でも大事な宝物にしています。

・仏教のアップデート

私は現在愉快をテーマに仏教を若い人たちに理解してもらうため、自分の愉快を見つけ、他者が愉快を見つくるのを手伝うとの路線で活動しています。

（質問1）

一般的に曹洞宗の場合、修行は永平寺ではないですか？

（答）違います。私は修行をしたかったので、お坊さん

になって住職になるつもりはなく、修行僧をや
りたかったのです。

葬式も今まで6回しかしていません。

永平寺には毎年3回位講義に行っていますが、
今年はコロナでキャンセルされて残念です。

(質問2)

コロナで大変な状況になっている人も多いと思
いますが、その方たちが愉快的境地になるための実践はやは
り瞑想でしょうか？

(答) ねばならないと考えると苦行になるので、目標を
意識しないで坐禅をし、何のためにやるかの「た
め」を外すために坐ることをおすすめします。

(質問3)

私の根幹は佐賀のおばあちゃんがよく言っていた「ばち
(罰) が当たらないようにしんさい」を守ることでした。
長いこと社長もしましたが、コンプライアンスを守り正
しい道を歩くようにしていました。

(答) マルチリバースという考え方があるが、坐禅する
かそれ以外ではその後続く世界は違ってくる。
自分のやった行為はどんな小さな行為でも必ずそ
の後の世界に影響するという立場ですね。

いつでも今やるべきことを今やる心を大事にし
て下さい。

(質問4)

山の中のお寺では宿坊をしていますか？

(答) いや、宿坊ではないです。

行った人は山の中で修行しないといけません。

(質問5)

コロナの時代で不安な心理から人々が扇動的なリーダ
ーを求めたりする可能性はあるでしょうか？ そうい
うときに冷静に状況を判断するためのヒントがありま
すか？

(答) こういう不確かな時代には、説得力を持って導く
人が出れば同調する人も出てくるでしょう。歴史は
繰り返すというとおり、人間の本能を消してしま
うことはできませんが、流されないようにするこ
とはできます。自分の中にイメージーションを
御するものを持つようにするために黙って坐禅を
続けてみて下さい。

(質問6)

坐禅をしたいのですが、足が悪くてきちんと座れま
せん。何か方法はありますか？

(答) アメリカでも足などを手術して座れない方が来
れたのですが、坐禅は何のためにやるのか遡っ
て考え、体幹がいいバランスで座れば足の形
は悪くてもいいのですと教えました。椅子に座っ
てもいいし、場合によっては横になったままの修
行でもいいし、柔軟に考えて下さい。

(要約文責 宮下)

例会報告 第776回 2020年6月15日(月) オンライン例会

出席率 62.07% 接続会員数36名+メンバー70名
(正会員64名-休会6名)

📌 開始(野呂洋子会員組織委員長)

皆様 オンライン例会8回目を開催させていただきます。

📌 ゲスト発表(井関和美SAA副委員長)

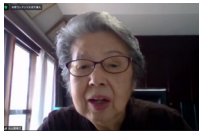
本日のゲストは当クラブへ入会承認されました池内純人(いけうちまさと)様です。



📌 古切手寄付活動報告(丸山富美江会員)

当クラブは2005年から使用済切手を東京青梅市の盲養護老人ホーム聖明園に送付しています。

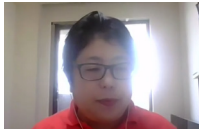
業者が目方で買って外国へ売るので、多少なりとも資金協力になっていると思います。聖明園には現在100人以上が入所しており、空気もよいところなので、皆さんも是非見学にいらして下さい。



📌 各委員長役員活動報告

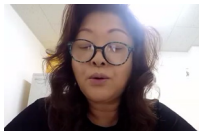
i 清宮普美代幹事

この1年、会長と一緒に幹事としてクラブの活動を運営できたことは大変ありがたかったです。オンライン例会も会員の皆様の御協力で成功裡に終わり、新HPもようやくオープンしこれから拡充していくところです。幹事としては、各委員会がワンチームになるようサポートし、新人に対する情報提供を積極的行いました。奉仕活動へ多くの新人が参加してくれたのは会長の積極策が実を結んだものと思います。



ii 奉仕プロジェクト委員会 伊藤知佳子委員長

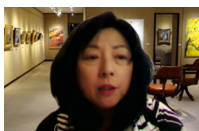
12月に当クラブのクリスマス会があり、今年は医療支援ランチBOXなど各種支援活動を行い、育成園の子どもたちのためにビデオレターを作り、オンライン上映会を行いました。



激動の1年間に素晴らしい活動ができたと思います。1年間ありがとうございます。

iii 会員組織委員会 野呂洋子委員長

カバーする仕事が多岐にわたり、責任が重いなと思いましたが、司会是高橋肇委員と分担し、段取りや変更は吉国さん



の協力を得たり、会長・幹事にも協力いただき、当日の急な変更に対応できました。

対面例会では、SAA委員が会場のお世話をしましたが、上野委員が特に気を配り、お客様に心地よく楽しんでいただけたと思います。

親睦活動では、福元会長から新入会員の交流の場ともなるようにとのお話もあり、特に海渡会員と石井副委員長に心掛けていただきました。

オンラインでも対面でもロータリーでは例会が大きな意味を持つので、その充実を心掛けて1年勤めさせていただきました。

皆様ありがとうございました。

iv SAA委員会 井関和美副委員長

SAAでは担当者の分担制に工夫し、新人にも協力を求め、定着につながる役割を担っていただき、コミュニケーションの機会を増やしました。

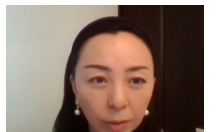


インド例会のような大きなイベントでは、チーム分けを徹底してなんとか成功裡に終わることができました。

この1年ご協力ありがとうございました。

v 会員増強委員会 秋葉良子委員長(黒岩友美副会長代読)

コロナ騒動により、今年はなかなか目標の70人の実現は難しかったのですが、来期に再起をはかりたいと思います。体調が悪くなり途中で休会となってしまう申し訳ありませんでした。



vi 職業分類委員会 石原忠始委員長

前期は4名の新入会員を面接し、後期は2名が見込まれていますが、面接ができる状況ではないので色々対策を考えています。



次年度には70名を突破できるかなと考えています。

鈴木会員が仕事の関係で軽井沢へ転籍となったのは残念です。

vii 米山記念奨学委員会 大盛敬子委員長

・皆様の御寄付で今期のクラブ目標を達成できました。

・2019年8月に明治記念館で、今期の地区米山留学生31名、学友等7名、ロータリアン12名の合計50名が参加する懇親会が開かれ大盛況でした。

・2019年11月には、タンザニアから来た女性米山留学生のチチャウイリさん(東京農業大学留学中、博士課程3年生、マイクロファイナンス研究)に卓話をさせていただきました。

・2019年9月14日静岡県三島市で、米山梅吉記念館創立50周年式典が750人以上の参加で開



催され私も参加致しました。梅吉さんは東京RCの初代会長でしたので、現在の東京RCの会長の竹中工務店社長様からいろいろ説明があり、米山学友の林曼麗さんが梅吉翁の「利他の精神」について記念講演を行って下さり、感動致しました。

今年に入ってからコロナ禍で行事も何も中止されてしまい、報告することもなく、大変残念です。

viii 広報委員会 宮下文夫委員長

今期は週報・HP・LINEについて、以下の活動がありました。

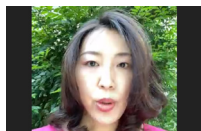
- 週報は745回(2019年7月1日)から768回(2020年2月17日)までは、リアル例会が行われ、紙面に印刷した週報をお届けしました。769回(2020年4月6日)以降は、オンライン例会となり、週報もPDFによるメール配信となりました。紙面印刷時代は2例会分で4頁というスペースの制約があり大胆に要約していましたが、PDF版ではスペースの制約がなくなり、忠実性は高まったものの冗長化したため最後まで読み通す読者は減ったものと危惧しています。今後はPDF版でも忠実性と要約性をバランスよくまとめていきたいと思っています。
- HP関係では、清宮幹事肝いりの新HPが2020年5月に立上り、見映えは格段に良くなりましたが、コンテンツはまだ不十分なので、今後週報記事や旧HPから移植して充実させていきたいと思っています。

• LINE関係

今期から執行部においてLINEを導入して連絡や広報をするようになっていましたが、その効用と問題点については運用の中心にいる会長・幹事から追って説明いただければと思います。

ix 会計 清水みほ委員長

- 今期皆様に興味をもっていただけるような説明方法に努めました。
- 年会費の使途(32.4万円、寄付込)
例会費(帝国ホテルへ支払うもの) … 55.55%
固定費(家賃・人件費) … 21.6%
寄付 … 7.4%
週報・HP … 6.17%
事務手数料関係 … 7.71%
- 奉仕財源を集めるためには、新入会員の入金とニコニコが重要です。
- 対面例会の食事を見直し、和食やデザートを試みを行いました。



- 週報が紙媒体からPDF配布となったことで、1通の費用は48,000円余から28,000円余に減少しました。
- 新HPの費用は、予算のとりの金額で収まっています。
- 予算の大きな変更は、コロナの関係で、対面例会中止による例会費→医療支援プロジェクト費用へ
青少年交換留学生ララちゃん3月末早期帰国→費用余り
地区補助金奉仕プロジェクト→メイク支援1回のみ実施
オンラインと事務局の在宅リモート初期費用の発生

x プログラム委員会 高橋辰三委員長

- 卓話方針
チームを作る→全員参加型に
今まで卓話紹介をしていなかった会員の紹介を優先
カテゴリーの多様化
- 実績
イニシエーション …… 11名(ララちゃん含)うち1名オンライン
卓話実施 …… 23名
当クラブ会員 …… 2名
ロータリー関係 …… 5名
オンライン …… 6名
コロナで延期 …… 8名
とても楽しく意義深い卓話が多く、次回へ延期された卓話にも期待が集まるところです。



xi ロータリー財団委員会 清宮幹事報告代行

- 今年度の目標 6200 \$ に対して9101 \$ 達成(1人141 \$)
1人150 \$を達成すると補助金獲得にかなり有利になりますので、後ほど又ご説明します。
- ポールハリスフェロー賞受賞者 4名
秋葉会員、石川会員、並木会員、曾根会員
ご協力ありがとうございました。



- 福元智子会長 オンライン例会になってからの初の入会会員、池内さんをお迎えする予定です。本日もご参加くださっていてとても嬉しいのでニコニコします。また、今日のクラブ協議会で皆さまと奉仕活動について活発に意見交換できること、楽しみにしています!
- 秋葉良子会員 急な休会となり申し訳ありません。また元氣になりましたら例会参加させていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。
- 山下江会員 会員名簿をコロナによる郵便局の郵送ミスで紛失しましたところ、新しい名簿を広島まで送っていただき、ありがとうございました。

にここご合計 8,000 円 / 今期累計 523,138 円

福元会長 終了挨拶・点鐘

各委員長の皆様、本当に丁寧なご報告ありがとうございました。今期は色々予定していたキャンプとか画廊巡り以外にいろいろな新しいプロジェクトが入り、インド例会・医療支援プロジェクトとかオンライン例会とか嵐のようにいろいろあって、会員の皆様には、沢山いろんな行事に参加頂いて大変ありがたかった1年でした。

本当にどうもありがとうございました。



クラブ協議会(司会 清宮幹事)

例会終了後続けてクラブ協議会となり、来期の奉仕活動について発表がありました。

i オンライン給食 提案者 幸村実鈴会員

YouTubeで告知し、Zoomでつないで廃棄予定のお弁当を近く場所に取りに行き一緒に食べるというものです。

JCとロータリーの共同プロジェクトにしたいと思っています。

最近JCの会員が減少して存続が危ぶまれているので、他団体との交流を方針としているところです。

ii 医療支援プロジェクト 提案者 金子健彦会員

マスクや防護具(PPE)はまだ不足で、入手に費用がかかり、病院の経営を圧迫しています。

私が10年以上勤めていた墨田区の同愛記念病院では、透明なゴミ袋を切って防護具(PPE)を作り、原則使い捨てとしています。

このプロジェクトでは、ビニールの雨合羽120円を手作業で防護具に改造するもので、費用は500枚で6万円しかかかりません。

まだ今後第二波が予想される中で、予算規模に応じて手作りでできるプロジェクトです。

iii 困窮家庭の子どもたちへのランチBOX提供プロジェクト 提案者 井関和美会員

今コロナ下でシングルマザーが子育てに苦労してブラックボックスになっているので、ハル山下さん(国連WFPプロジェクトにも参加)の協力を得て、シングルマザー協会を通して情報を得て、目黒区や中央区で実施したいと考えています。

iv 女性のリーダーシップ育成の支援プロジェクト

提案者 海渡千佳会員

ロータリークラブはまだ男性中心で女性の比率は低い実態があります。今後の社会的課題の解決には女性のリーダーの力が必要と考えます。

1人の女性を目覚めさせれば派生的効果が大いだと思います。当クラブでも今回のコロナ対応としてオンライン例会の体制を整え、限られた環境下で何とかできる支援活動を組織していく女性の力を「迅速に柔軟に対応できる力」として感じ

取ることができました。ロータリークラブという高い志を持ったグループが今後も永く世界を良い方向へ引張っていけるためにも女性リーダーの育成が急務と考えます。

「Because I am a girl」プロジェクトでも言われている女性のリーダーシップの育成は、家族・周囲に与える効果が大いに見込まれています。

具体的には、

- 女性のリーダーフォーラム・講演会の開催を継続的にやりたい。

v 世界につながる若い人たちへのメッセージ支援プロジェクト 提案者 中西ふじ子会員

教育現場では出来ない活動をロータリーでできるのではないかと。多様性、独創性。

音楽を通じて「みんなへのメッセージ」を発信するため、自由にアレンジした音楽などの創作作品のコンテストの開催。

審査：プロの演奏家及びロータリーの専門家
オンラインで発表(表彰)

課題提出方法

- 自分で作曲して200文字のメッセージを付ける。
- 好きな曲に200文字のメッセージを付ける。
- 合唱部・吹奏楽部の演奏会の録画に200文字のメッセージを付ける。
- 家族兄弟で演奏して、200文字のメッセージを付す。

対象：地域の小学生から高校生まで

応募：2020年9月から12月

後援：教育委員会等へ依頼

(清宮幹事)

今回の5つのプロジェクトは、それぞれ面白いポイントがあり、会員の皆さんが今後興味があるプロジェクトについてテキスト形式でいろいろやりとりしながら煮詰めていってほしいと思います。

7月の新年度理事会でも方針確認をしたいと思います。

(要約文責 宮下) あ

